

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	商品知識		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	商品知識	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴						
授業概要						
フルート・クラリネット・サックス・トランペット・ホルン・トロンボーン・ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット・マーチングブラス・アクセサリーの楽器・製品解説。						
到達目標						
楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴・売りなど、販売修理知識の修得。						
授業計画・内容						
1～2回目	フルート概要・製品解説					
3～4回目	クラリネット概要・製品解説					
5～6回目	サックス概要・製品解説					
7～8回目	トランペット概要・製品解説					
9～10回目	ホルン概要・製品解説					
11～12回目	トロンボーン概要・製品解説					
13回目	ユーフォニウム概要・製品解説					
14回目	チューバ概要・製品解説					
15回目	オーボエ概要・製品解説					
16回目	ファゴット概要・製品解説					
17回目	マーチングブラス概要・製品解説					
18回目	アクセサリー製品解説					
19回目	マウスピース概要・製品解説					
20回目	リード概要・製品解説 リガチャー概要・製品解説					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	「管楽器価格一覧表」ミュージックトレード社、各メーカーカタログ					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	学販商品知識		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	学販商品知識		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
各楽器の歴史・種類・名称・メカニズム・材質からメーカーの歴史・特徴・主要機種・定番機種などを学ぶ。					
到達目標					
学校販売で扱う教育楽器等のうち、管楽器以外の楽器についての販売知識の修得。					
授業計画・内容					
【後期】 1回目	リコーダー概要・製品解説 ハーモニカ概要・製品解説				
【後期】 2回目	鍵盤ハーモニカ概要・製品解説 アコーディオン概要・製品解説				
【後期】 3回目	和楽器概要・製品解説 電子楽器概要・製品解説				
【後期】 4回目	バイオリン概要・製品解説				
【後期】 5～6回目	ピアノ概要・製品解説				
【後期】 7～8回目	ギター概要・製品解説				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	講義ごとにテキスト配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	フルート修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	フルート修理	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
フルート修理の実践。					
到達目標					
フルート修理の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択によって回数変動	作動調整				
	タンポ調整				
	連動調整				
	管体修正・へこみ直し				
	溶接(ハンダ・銀ロウ)				
	ピッコロ調整				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	クラリネット修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	クラリネット修理	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
クラリネット修理の実践。					
到達目標					
クラリネット修理の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択に よって回数が変動	作動調整				
	タンポ調整				
	連動調整				
	管体修正				
	バスクラリネット調整				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	サキソフォン修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	サキソフォン修理	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
サキソフォン修理の実践。					
到達目標					
サキソフォン修理の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択によって回数変動	作動調整				
	タンポ調整				
	連動調整				
	管体修正・へこみ直し				
	溶接(ハンダ・銀ロウ)				
	ソプラノ・バリトン調整				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	トランペット修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	トランペット修理	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
トランペット修理の実践。					
到達目標					
トランペット修理の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択に よって回数が変動	管体清掃・磨き				
	ピストン調整				
	抜差管調整				
	へこみ直し				
	溶接(ハンダ・銀ロウ)				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	トロンボーン修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	トロンボーン修理	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
トロンボーン修理の実践。					
到達目標					
トロンボーン修理の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択によって回数変動	管体清掃・磨き				
	スライド調整				
	ロータリー調整				
	拔差管調整				
	へこみ直し				
	溶接(ハンダ・銀ロウ)				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	ホルン修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ホルン修理		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
ホルン修理の実践。					
到達目標					
ホルン修理の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択に よって回数が変動	管体清掃・磨き				
	ロータリー調整				
	拔差管調整				
	へこみ直し				
	溶接(ハンダ・銀ロウ)				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	特殊楽器修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	特殊楽器修理	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット修理の実践。					
到達目標					
ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット修理の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択によ って回数変動	ユーフォニウム修理				
	チューバ修理				
	オーボエ修理				
	ファゴット修理				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	金属加工		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	金属加工	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15～428回(30～856単位時間)	年間単位数	1～27単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 17年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
ヤスリ、ノコなどの工具の扱いを学び、楽器修理工具の製作や、機械工具使用方法、パーツ製作を学ぶ。					
到達目標					
金属加工の方法論や、材質の特性などを理解、工具、パーツの製作技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】and【後期】 1～214回目 ※個人の選択に よって回数変動	基礎金属加工:金属材料の加工				
	ボール盤・旋盤・グラインダー加工				
	楽器工具製作:タンポヘラ製作				
	楽器工具製作:ペンチ加工				
	楽器工具製作:その他調整工具製作				
	楽器パーツ製作				
	彫金基礎:指輪等の製作				
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。				
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	項目ごとにプリントを配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択前期ウインドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択前期ウインドアンサンブルⅢ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 38年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択前期木管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択前期木管室内楽Ⅲ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択前期金管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択前期金管室内楽Ⅲ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 24年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択前期ビッグバンドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択前期ビッグバンドアンサンブルⅢ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。				
授業概要					
ビッグバンド楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択後期ウインドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択後期ウインドアンサンブルⅢ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 38年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択後期木管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択後期木管室内楽Ⅲ		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択後期金管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択後期金管室内楽Ⅲ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 24年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース

授業科目名	選択後期ビッグバンドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	選択後期ビッグバンドアンサンブルⅢ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。				
授業概要					
ビッグバンド楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の演奏発表、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				